



議会だより

今回の定例会

3月

6月

9月

12月



主な内容

P.2 ～ 令和8年度補正予算
～5つのトピックで見る補正予算～

P.4 ～ スタート！印西市第2次基本計画

P.6 ～ まちづくりを問う（一般質問）

P.17 ～ 各常任委員会の審査

P.20 定例会の議案と審議結果一覧

P.22 令和7年度 政務活動費収支報告

P.24 市民の声「まちづくりをみんなと共に」
滝野中学校3年 植村さん

令和8年度補正予算



5つのトピックで見る補正予算

01

保育園運営に要する経費

1億621万3千円

印西牧の原駅
圏において、送
迎保育ステーショ
ン事業を実施す
るための整備お
よび運営業務委
託費を増額する。



02

最高裁判決を踏まえた生活保護
費等追加給付事業

7,535万6千円

令和7年6月27日の最高裁判決を踏
まえ、平成25年から実施した生活扶助
基準改定のうち、デフレ調整の改定率
を消費実態に基づく水準の改定率に代
えることで生じる差額相当額の追加給
付等を行う経費を増額する。

03

総合福祉センター
施設管理に要する経費

▲2,629万円

総合福祉センター保全改修工事におい
て、福祉作業所コスモス別棟（Aグル
ープ作業所）部分を保全改修工事から
新築工事に変更することに伴い、当該
施設部分の保全改修に係る費用を減額
する。



04

障害者自立支援給付事業

850万3千円

総合福祉センター保全改修工事にお
いて、福祉作業所コスモス別棟（Aグ
ループ作業所）部分を保全改修工事か
ら新築工事に変更することに伴い、当
該施設の解体および新築工事に係る設
計業務委託費を増額する。



令和8年度補正予算（第1号）が原案可決

予算審査常任委員会

予算審査常任委員会は、令和8年6月10日に令和8年度補正予算の審査を行い、全て原案のとおり可決しました。主な内容について、5つのトピックで紹介しています。

議案第8号 令和8年度印西市一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
642 億 6,000 万円	2 億 7,551 万 7 千円	645 億 3,551 万 7 千円

議案第9号 令和8年度印西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の補正

補正前の額	補正額	補正後の額
97 億 5,601 万 8 千円	3,060 万 3 千円	97 億 8,662 万 1 千円

主な内容

○国民健康保険事業費納付金 令和8年度国民健康保険事業費納付金の確定により増額。	3,060 万 3 千円
---	--------------

議案第10号 令和8年度印西市水道事業会計補正予算（第1号）

収益的収入及び支出の補正

	補正前の額	補正額	補正後の額
収益的収入	6 億 7,672 万 8 千円	310 万円	6 億 7,982 万 8 千円
収益的支出	6 億 7,094 万 1 千円	310 万円	6 億 7,404 万 1 千円

主な内容

○市営水道料金の特別減免 千葉県水道料金減免支援事業特別交付金を活用し、市営水道料金を4カ月（7～10月検針分）、20%減免するもの。	310 万円
--	--------

05

千葉県公立小学校等給食費の抜本的な負担軽減補助金（歳入） 4億6,263万3千円

令和8年4月からの国の「学校給食費の抜本的な負担軽減」の実施に伴い、小学生1人当たり月5,200円の補助金が千葉県を通じて交付され、市が行っている給食無償化事業に充当するもの。



基本計画

詳しくはこちら

市ホームページ下部「ダウンロード」から
本計画をご覧ください。



議会だよりでは、市民の方々に、より分かりやすく、全体像や役割について、トピックを交えながら、お伝えしたいと思います。

印西市では、政策の大綱として、5つの政策を掲げています。

政策 1

子育て・教育
・文化

政策 2

安全・安心・
健康福祉

政策 3

産業・交流

政策 4

まちづくり・
生活環境

政策 5

住民自治・
協働・行財政

経営戦略

○**経営戦略**は、選ばれるまちづくりを進めていくために、市の経営を「**都市経営**」と「**行政経営**」に分け、この2つを連動させてまちづくりの好循環を生み出し、将来都市像の達成を目指すものです。

経営戦略を進める8つの基本目標

都市経営：どんなまちを目指すのか？

- ①次世代に繋ぐ子どもたちを育てる
- ②起業、創業や企業誘致で職住近接なまちをつくる
- ③自然を活かし、暮らしに息吹かせ、心から安らぐまちをつくる
- ④安全・安心な住み続けたいまちをつくる
- ⑤地域ごとの特性を活かし、人・モノがつながる多極・循環型のまちをつくる

行政経営：どんな市役所を目指すのか？

- ⑥市民参加と公民連携を進め、地域ならではの共創のまちをつくる
- ⑦変化に対応し、挑み続ける人材が育ち、支え合いと信頼が根付く組織をつくる
- ⑧多様な行政ニーズに対応するための戦略的な行財政運営を実現する

実施計画

○**実施計画**は、基本計画に掲げた施策の目標を達成するための手段として主要な「事業」を示すもの。基本計画開始年度に3カ年の計画を策定し、毎年見直しを行う。

Topic2

急増する扶助費・物件費について、まず**扶助費**は、どれも生活に直結する大切な支出ですが、市当初予算書によると8年でほぼ倍増しており、国の制度で義務的に支出しているものも多くあります。議会だより編集委員からは、「今後の財政運営においても無視できない要素になると思われる。」との意見もあります。

次に急増しているのが**物件費**で、市の組織を運営する上で必要なモノやサービスへの経費です。コロナ禍後は行政のDX(デジタルトランスフォーメーション)が不可欠になり、これも急増の一因かと思われます。議会だより編集委員からは、「世界的に将来が不透明な時代、足元をしっかりと見つけた市政運営がますます必要になる。」との意見も出ています。

スタート！

印西市第2次

令和8年3月、**印西市第2次基本計画**が策定・公表されました。

印西市総合計画を構成する、第1次基本計画期間が満了し、**令和8年度から第2次基本計画が始まりました。**

総合計画の位置づけ

総合計画

○総合計画は、**印西市の最上位に位置づけられた計画**として、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成されています。

その中で**第2次基本計画**は、基本構想に示された5つの政策に沿って、その具体的な施策を体系的に示すものになります。

Topic1

一般的には、自治体の総合計画や基本計画の策定は、専門的知見や実績を積んだ外部の業者に発注・委託して作成することが多いのですが、今回、印西市は1年以上前から準備し、市職員の力で、しかも若手職員が中心となり試行錯誤しながら全庁的な努力の上、今回の第2次基本計画を完成しました。

このような試みと成果に、まず、敬意を表したいと思います。



総合計画（令和3から12年度）

基本構想
令和3～12年度

基本計画

第1次
令和3～7年度

第2次
令和8～12年度

経営戦略

＋
5つの政策に対応した
18の施策

○基本計画は、基本構想に示された「政策の大綱」に沿って、その具体的な「施策」を体系的に示すものです。

持続可能な自治体であるために、経営的な視点を導入していくことをまとめた「経営戦略」を新たに位置付けています。

実施計画

まちづくりを問う



◆ 一般質問 ◆

議員は、市民の代表として印西市の市政全般について幅広く質問することができます。これに対し市は、今後の事業計画や現状を説明し、議論を深めていきます。

一般質問は、市民の声を市政に届け、より良い印西市を作るためにとても重要です。

令和8年第2回定例会では、6月3日から6月9日まで個人質問が行われ、市政全般に対して活発な議論が展開されました。

ここではその一部を掲載いたします。

この掲載記事は、各議員本人が作成したもので、質問順に掲載しております。

個人質問

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. 板橋 睦……………P.7 | 11. 藤江 研一……………P.12 |
| 2. 稲葉 健……………P.7 | 12. 増田 葉子……………P.12 |
| 3. 鈴木 博美……………P.8 | 13. 岩崎 成子……………P.13 |
| 4. 軍司 俊紀……………P.8 | 14. 海老原 作一……………P.13 |
| 5. 林 勝利……………P.9 | 15. 都築 真理子……………P.14 |
| 6. 山田 喜代子……………P.9 | 16. 津田 憲吾……………P.14 |
| 7. 松尾 榮子……………P.10 | 17. 加藤 亮二……………P.15 |
| 8. 米井 重行……………P.10 | 18. 大崎 亜希……………P.15 |
| 9. 松谷 知美……………P.11 | 19. 小川 利彦……………P.16 |
| 10. 大野 忠寄……………P.11 | |



(仮称)松山下公園アクセス道路

再質問 令和7年度、令和8年度と2年続けて予算措置されな
いがなぜか。
答弁 現在整備を行っ
ている路線
や計画して
いる路線が

問 アクセス道路の整備は進むのか

答 総合的に整備時期等を判断する

板橋 睦議員



質問1 松山下公園アクセス

道路整備計画の経緯について。

都市建設部長 和泉地区内生

活道路の通過交通を抑制し、

災害時の広域避難場所となる

松山下公園へのアクセス向上

のため計画したもの。

再質問 これまでの取り組み

状況は。

答弁 令和3年度概略設計、

令和4年度予備設計、令和5

年度現地測量、令和6年度に

隣地境界を確定するための資

料調査および路線測量を実施。

再質問 令和7年度、令和8

年度と2年

続けて予算

措置されな

いがなぜか。

答弁 現在

整備を行っ

ている路線

や計画して

いる路線が

多いため、既に用地取得に着

手している路線の整備などを

踏まえた予算措置である。

再質問 広域避難場所となる

松山下公園への災害時の備え

として重要なルートになるが、

答弁 避難経路の主要な路線

になるものと認識している。

再質問 地権者への説明は。

答弁 適切な時期に説明する。

再質問 今後の事業計画は。

答弁 総合的に整備時期など

を判断する必要がある。

質問2 佐倉印西線の荒野交

差点について。

都市建設部長 視距の確保を

踏まえてカーブミラーの角度

の見直しや移設を考えている。

再質問 カーブミラー移設以

外の安全対策は。

答弁 見通しを阻害する要因

の改善などが考えられる。

問 図書館課設立の目的は

答 生涯学習のニーズ対応のため

稲葉 健議員



質問 新たに設立された図書

館課の背景として、どのよう

なニーズがあるか。

生涯学習部長 図書館は、子

どもから高齢者まで、あらゆ

る世代の学びを支える生涯学

習施設であり、読書活動の推

進に加え、情報提供や学習支

援、地域の交流の場として、

その役割は年々多様化してい

る。新たに図書館課を設置し

た背景には、このような市民

の生涯学習に対するニーズの

多様化や、地域コミュニティ

の活性化への期待の高まりが

あるものと認識している。

再質問 外部から館長を登用

したが、専門的な知見や民間

での経験をどのように図書館

運営に活かしていくのか。

答弁 図書館運営における専

門的知見や地域連携など豊富

な経験を活かし、図書館機能

の更なる充実を目的に配置し

た。館長からも「資料展示や

空間づくりの工夫などによる

図書館の魅力向上のほか、地

域の団体や学校、施設および

関係部署との連携を強化し、

図書館を拠点とした新たなつ

ながりの創出に取り組んでい

きたい。」と聞いており、今

まで培ったノウハウを活かし

た手腕に期待している。

再質問 来館者への、本の見

せ方や雰囲気づくりをもっと

工夫して欲しいが。

答弁 利用者が関心を持ちや

すい空間づくりに努める。

問 ごみ分別検索の改善は

答 AI画像認識機能を追加

鈴木 博美 議員



質問1 AI画像検索などを活用した分かりやすいごみ分別機能を検討できないか。

市長 アプリ運営会社が開発中のAI画像認識機能を令和9年度から追加し利便性を図る。

再質問 新機能には、多言語対応も含まれているか。

環境経済部長 令和8年6月から5カ国語に対応済みで新機能でも同じ対応ができる。

質問2 マンホールトイレの今後の整備方針と、避難所運営における対応は。

総務部長 市内8中学校区で整備を完了。今後は、市防災アセスメントに基づき携帯・簡易トイレを計画的に備蓄する。避難所運営では自主防災組織などの意見も取り入れ実践的な運営につなげていく。

質問3 避難所の受付負担軽減のため、二次元コードを活用



AIの活用により便利になる、ごみ分別アプリ

用したシステム導入の検討は。

総務部長 個人情報などの課題を踏まえ調査・研究する。

質問4 視覚に障害のある方の情報取得ツールに音声コード・ジャーマンの活用状況と、今後の通知物への拡大方針は。

福祉部長 障害福祉サービス案内で活用中。重要文書への段階的な活用拡大も検討する。

質問5 耳で聴くハザードマップの周知状況と、ダウンロード支援など活用促進策は。

総務部長 市ホームページなどで周知中。ダウンロード支援を出前講座などで取り組む。

問 印西市教育ビジョンは実現可能か

答 組織横断かつ部局連携で推進する

軍司 俊紀 議員



質問 印西市教育ビジョンは、国が目指す次期学習指導要領を実現できるか。

教育長 市では教職員が教育活動に専念できる環境を構築し、業務の適正化、デジタル・AIの活用、専門性の向上を支援する。これらの取り組みを通じ、業務改善と専門性向上を一体的に推進することで、教職員の働きやすさと働きがい高め、子どもの学びの質を向上させる。

再質問 生成AI活用の具体的な進め方は。

答弁 具体的な導入・支援は、市で作成した生成AI活用ハ

ンドブックや活用ガイドを共通手引きとし、市内全小中学校に展開していく。また、文部科学省の生成AIパイロット校に指定されている本市の学校での先行的な実践を活かし、その成果や課題を整理した上で、市主催の研修、指導主事などによる伴走支援、実践事例の共有を通じて、全市的な横展開を図っていく。

再質問 教職員の生成AI活用能力向上のための支援体制はどの程度の規模を考えているのか。児童生徒の指導に必要な倫理・ルール策定については非常に重要だが、どうか。

答弁 基礎研修と実践事例の共有を行うことを基本とし、市では生成AI活用ガイドを既に策定済みで、基本的な考え方を示している。



市教育委員会作成 教師・児童生徒向け生成AI活用ガイド



機会の確保がされるべき
子どもの学習

質問 これまで実施してきた他自治体の調査・研究により、どのような成果や効果を把握しているのか。

健康子ども部長 教育費の負担軽減や学習機会の確保など一定の効果が見られるが、公平性や財政負担、支援を必要とする方へ適切に届く仕組みづくりなどの課題もある。

再質問 教育バウチャー制度導入にあたり、どのような課題がある認識しているか。

答弁 導入にあたっては、対象者や支援内容などの制度設計を進めるべきと考えるが市の見解は。

計をはじめ、公平性の確保、必要な方へ適切に支援が届く仕組みづくり、利用可能な事業者の確保、継続的な財源確保などが課題であると認識している。

再質問 市長公約のロードマップに掲げるバウチャー制度の導入可能性について伺う。

市長 他自治体の取り組み状況や効果検証結果を注視し本市にふさわしい支援の在り方について検討している。

再質問 事業実施に向け、具体的に制度設計や財源確保の検討を進めるべきと考えるが市の見解は。

健康子ども部長 現在、対象者の範囲や支援内容、実施手法、利用可能な事業者の確保、継続的な財源確保などについて検討を進めている。必要な課題整理を行いながら、事業実施に向け取り組んでいく。

問 教育バウチャー制度導入について

答 事業実施に向け取り組んでいく



林 勝利議員

問 変電所建設は別の場所を希望

答 事業者に丁寧な対話と説明を求める



山田 喜代子議員



変電所建設計画のイメージ図

質問1 草深地区に変電所計画がある。住民は別の場所を希望している。市として事業者に申し入れることは可能か。

都市建設部長 住民から意見があれば事業者へ伝え、丁寧できめ細やかな対話と説明に努めるよう求める。

質問2 駅前データセンターは市長就任の1年半前に土地売買が市も含めて認められている。なぜこのような重大情報を就任直後に報告しなかったのか。また、マンションから10m先にデータセンターが建ち全面壁となる。市長は14

階から下の現場を見る考えはないか。

都市建設部長 まちづくりに影響のある案件は先手を取り報告していく。

市長 現場には行っている。

質問3 JR木下駅・小林駅を車椅子利用者が利用できるよう、駅員の配置を求める。

企画財政部長 成田線活性化推進協議会では、JRに対し利用者の安心・安全が損なわれないよう要望している。

質問4 コスモスパレットにおいてデジタルサイネージを市の災害情報につなげてリンクするよう求める。

生涯学習部長 デジタルサイネージの活用も有効だ。指定管理者と協議し検討する。

質問5 鹿黒南のクリニック近くに横断歩道の設置を。

市民部長 印西警察署に要望している。

問 広域都市圏での印西の位置付けは

答 北総拠点都市・広域連携の拠点だ

松尾 榮子 議員



質問 県の印旛広域都市圏での印西市の位置付けは。

都市建設部長 北総地域の拠点都市および首都圏における広域連携拠点、近郊レクリエーション拠点、立地優位性と地域資源を活かした拠点として位置付けられている。

再質問 印旛中央地区開発について今後のスケジュールは。

答弁 令和8年度は地権者の皆さまと合意形成を図りながら事業方針案の策定を目指す。令和9年度以降は、土地区画整理事業を主体的に進める業

務代行予定者の公募に向けた検討を進める予定である。

再質問 印西牧の原駅圏複合施設のサウンディング調査に応じた民間事業者は何者か。

企画財政部長 4者である。公民連携により、より高い成果が期待できると考えている。

再質問 千葉ニュータウン事業では、東京圏のベッドタウンではなく、北総の中核都市として存在感を放つ新都市・印西市が目指されていた。その理念を忘れずまちづくりを。市の考え方一つで今後100年の印西のまちづくりが変わる。「中央駅タウンセンター地区」についての考えは。

都市建設部長 令和8年度からの印西市第2次基本計画では、市が持つ様々な魅力を活かし「緑育職住近接」「多極・循環型まちづくり」を掲げており、こうしたビジョンに照らしてまちづくりを進める。

問 若年性認知症、家族への対応は

答 実情の把握と対応力の向上を図る

米井 重行 議員



質問 若年性認知症は、配偶者や子どもへの精神的・経済的負担も大きいと考える。若者が、親を介護するヤングケアラーにつながるケースも想定しているのか。

福祉部長 実情の把握と対応力の向上を図っている。

再質問 ヤングケアラーは、自ら支援を求めることが難しいケースも多い。学校には「気づきを待つ」のではなく「積極的に気づく」姿勢が求められる。子どもたちが発するSOSは、言葉で表れるとは限らない。ヤングケアラーの



家族を支えるヤングケアラー

早期発見と支援に学校の役割は極めて重要だ。欠席や遅刻の増加、学習意欲の低下、疲労の様子など、子どもたちの小さな変化を見逃さず、教職員が組織的に情報を共有しながら、スクールカウンセラーや、関係機関と連携して、適切な支援につなげていくことを求める。令和6年の子ども・若者育成支援推進法改正により、ヤングケアラーが、国や地方公共団体等による支援の対象として明記された。支援を必要とする子どもたちを早期に見出し、適切な支援へつなげるため、日常的に児童生徒と接する学校の役割がこれまで以上に重要だ。

教育長 年間を通じて児童生徒の悩みに耳を傾ける機会を設けている。校内で支援会議を開き、情報の共有管理をし、早期対応に努めている。

問 体育館の空調設置時期変更理由は

答 断熱工法を当初と変更したため



松谷 知美 議員

質問1 学校体育館へのエアコン設置について、設置完了

予定が変更された理由を伺う。

教育部長 当初屋根断熱工事

を含む施工を前提とし令和13年度完了を見込んでいたが、早期設置を求める意見や社会的要請の高まりを踏まえ、断熱方法を窓ガラスへの断熱フィルム貼りに変更し、設置完了を令和10年度とした。

再質問 以前の質問において、断熱フィルムや遮熱塗装など、比較的短期間で施工可能な工法について伺ったが、耐久性や冷暖房効率の観点から屋根



小中学校体育館のイメージ

カバー工法を予定しているとあった。当初の工法選定との整理および断熱性能や耐久性への影響については。

答弁 屋根断熱工事は足場設置が必要となり、工期やコストなどがかることから効率性を再検討した結果、断熱フィルム貼りを採用した。なお、断熱フィルム貼りを施工した建物は、保全改修工事と併せて屋根断熱を施工し、断熱性と耐久性の向上を図る。

質問2 学校のプール利用券配布事業について、デジタル対応を行う考えはないか。

健康子ども部長 有効な手法と認識している。他市の事例や費用対効果を調査・研究する。

再質問 付き添い保護者利用の無償化または割引の考えは。

答弁 選択肢の一つと認識しているが、今後の利用状況などを踏まえ検討していく。

問 道路工事予定箇所の進捗状況は

答 3路線とも令和8年度内完成予定



大野 忠寄 議員

質問 市道師戸・江川線第2

期アスファルト打ち替え工事について。

都市建設部長 国の印旛沼二

期農業水利事業の工事区間までの約870メートルの区間の舗装機能回復を行うものであり、残る約385メートルの区間でアスファルト打ち替え工事を実施予定。

再質問 具体的な工事内容とスケジュールについて。

答弁 既存のアスファルト舗装を撤去し、厚さ5センチメートルのアスファルト施工を行い、道路路肩部分の補強および視認性を高める外側線を設置。夜間工事のため、車両全面通行止めとし令和8年12月初旬までに完成予定。

再質問 市道岡台・内野線アスファルト打ち替え工事は。

答弁 師戸区より延長280メートルの区間で舗装修繕の

要望を受け工事実施予定。

再質問 具体的な工事内容とスケジュールについて。

答弁 既存の舗装を撤去後、新たに10センチメートルの路盤および5センチメートルのアスファルト舗装を施工。工事期間内は車両全面通行止めとし昼間工事を実施。令和8年12月下旬に完成予定。

再質問 龍ヶ谷橋補修工事の工事内容とスケジュールは。

答弁 定期点検で橋桁の腐食などが判明し、現地測量を経て令和8年11月から令和9年3月末まで補修工事予定。



師戸区市道岡台・内野線アスファルト打ち替え工事予定場所の現況

問 高齢者への経済的支援改善は

答 市民意見を参考に検討する

藤江 研一 議員



質問1 高齢者に対する経済的支援の改善で、年齢の枠を60歳以上に拡大できないか。

福祉部長 現支援の方法などについて、市民の方からいただいた意見を参考に検討する。

質問2 プレミアム付デジタル商品券の申し込み状況は。

市長 トータルで、商品券総数22万口に対し約97%の販売を終了している。

質問3 消費税は社会保障制度の重要な財源であり、税収の4割は地方自治体の収入になっている中、5兆円規模とされている代替財源の明確化が必要。市は国や県に対してどう対応するのか。

企画財政部長 国から代替財源が示されていないので、国の動向を引き続き注視する。

質問4 外国語版リトルベビ―ハンドブックを印西市独自に作成できないか。

健康子ども部長 市単独での作成は困難だが、県に働きかけるなど支援の充実に努める。

質問5 令和8年5月28日から自治体が避難指示などを出す際の基準となる防災気象情報提供が始まった。各種規定の見直しと職員への研修は。

総務部長 新たな防災気象情報運用が開始され、情報を的確に活用した災害対応が重要となる。既に市の災害対応マニュアル見直しと、職員への周知を図った。令和8年6月3日の台風接近時も、これに基づく災害対応を行った。

健康子ども部長 市単独での作成は困難だが、県に働きかけるなど支援の充実に努める。



年齢の枠を拡大した、高齢者支援の先進事例（千葉県神崎町の例）

問 教育委員会分割で何が変わるのか

答 引き続き教育長が責任を持つ

増田 葉子 議員



質問 今年度から教育委員会が教育部と生涯学習部に分かれた。「教育長の負担軽減」という説明がされたが、今後の政策展開にどのように影響するのか心配だ。部が分かれた公共図書館と学校図書館の連携に影響は出ないのか。

生涯学習部長 影響はない。

再質問 部を分け図書館課が新設された。これまでよりプラスになる面を伺う。

答弁 図書館機能のさらなる強化が図られる。これまで以上に学校図書館との連携を充実していく。

再質問 公共図書館の役割は、市民一人一人の本を通じた学びを通して文化をつくっていくことだ。その学びの基礎は小中学生時代にある。学校図書館の大切さを改めて考えてほしい。「学校図書館支援センター」を置く自治体がある。



今後とも充実が期待される学校図書館

現在は、教育センターが学校図書館を所管しているが、新設の図書館課に専従の指導主事を配置し、学校図書館支援センターを設置する必要はないか。

教育部長 学校図書館支援センターは、学校図書館の運営や活用を統括・支援する専門機関と認識している。

再質問 必要かどうか答弁がないが、部を分けるなら、図書館課は教育部に置くべきではないか。

教育長 引き続き私が施策の遂行に責任を持つていく。

問 不登校児童生徒への対応は

答 一人一人に寄り添った支援を行う

岩崎 成子 議員



質問1 印西市の小中学校の不登校児童生徒の現状は。

教育長 令和7年度においては小学校156人、中学校は190人である。

再質問 不登校児童生徒の人数の推移は。

答弁 1000人当たりの人数は、令和5年度が28・8人、6年度は29・1人、7年度は30・6人、全国同様、増加傾向にある。

再質問 不登校児童生徒への今後の取り組みは。

答弁 市教育支援センターの新規設置や校内教育支援セン



市教育支援センター「緑のまきば」が入っている、そうふけふれあいの里

ターの全校設置を進めていく。

また、教育相談や訪問相談の充実を図るとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、フリースクールとの連携を深め、一人一人の状況に応じた支援に努めていく。

再質問 令和8年度の取り組みは。

答弁 令和9年度に開設を予定している市教育支援センター（仮称）第3のまきば」を印西牧の原駅圏に新設するための準備を進めていく。

質問2 避難所の環境向上に向けた取り組み状況は。

総務部長 避難所機能を強化するため、中学校区を基本にマンホールトイレや飲料水の災害井戸の整備を進めてきた。また、避難所の拠点となる屋内運動場の空調設備設置工事などを順次進めている。

問 市有樹木の一斉点検をすべきでは

答 点検や診断等を検討する

海老原 作一 議員



質問1 全国的な公園などの倒木事故を踏まえ、市民の安全を守るため「樹木の緊急一斉点検」を行う考えはあるか。

都市建設部長 倒木事故頻発を受け、令和8年4月に国から点検や樹木更新などの要請があった。事故防止に向け樹木の点検や診断などを検討し安全確保に努める。

質問2 市内で確認できる外来植物について伺う。

環境経済部長 オオキンケイギクやアメリカオニアザミなどを確認している。

再質問 外来植物の駆除・拡散防止には市民の協力が不可欠。市内一斉のごみゼロ運動と同時に、駆除・拡散防止活動を合わせて実施できないか。

答弁 ごみゼロ運動との連動は有効だが、安全や権利面の課題があることから、今後手法や参加の在り方を検討する。

質問3 人材戦略における人材ポートフォリオについて。

総務部長 人材ポートフォリオにより職員の能力を可視化し、適材適所の配置を進めることで、職員の強みを活かし、組織全体のパフォーマンス向上を図っていく。

再質問 職員のウェルビーイング構築について。

答弁 職員のコンディションの変化を早期に把握し対応することで、職員が安心して能力を発揮できる環境づくりにつなげていく。



道路への倒木

問 救急搬送時の地域連携について

答 関係機関との連携を密にしてい



都築 真理子 議員

質問 独居高齢者が救急搬送される際、市はどのような課題があると認識しているか伺う。

市長 本人や家族の情報、医療情報が不足していることで、搬送受け入れ先の決定に時間がかかったり、適切な搬送判断がしづらくなるなどの課題があると認識している。

再質問 緊急連絡先や身元引受人の確認が困難なケースについて、市は実態を把握しているのか。

福祉部長 救急医療情報キットでいざというときの安全・安心に備えた支援を行っているが、持っていない方々については、現状把握ができていない。

再質問 身元引受人などの確認が困難な場合、関係機関とはどのような連携が行われているのか。



命を守る、命をつなぐ救急車

答弁 救急隊員から市に情報提供を求められる場合がある。そのときは、速やかに情報共有するよう努めており、迅速に救急搬送ができるよう連携しているところである。

再質問 地域包括支援センター、障がい福祉関係機関、民生委員などの連携状況についてはどうなっているのか。

答弁 地域包括支援センター所長会議や民生委員児童委員協議会地区定例会などを通して、密に連携を図っているところである。

問 民間所有地の歩道の維持管理は

答 所有者や管理者が管理責任を負う



津田 憲吾 議員

質問 市内の民間所有地にある歩道の現状については。

都市建設部長 宅地分譲の際に私道として設けられた歩行者通路やマンション、商業施設などの施設内通路があるが、いずれも当該通路所有者や管理者によって維持管理が行われている。

再質問 通行人が当該通路でつまずきなどにより怪我をした場合はどうなるか。

答弁 民有地の通路に関する管理責任については、当該通路の管理者が負うべきものである。

再質問 修繕はどのようにしているか。

答弁 修繕についても管理者が行うべきものである。

再質問 民間所有地にある歩道として、木下南口商店街の歩道があるが、商店会がなく、所有者で管理ができて



民間所有地にある歩道
(木下南口商店街)

いない状況であるが、市の認識と対応については。

答弁 道路法に基づく道路指定区域決定が行われていない状況であり、維持管理については当該土地の所有者や管理者が行うべきものである。

再質問 管理ができない原因として、空きテナントの増加が考えられるが、テナント入居の誘致を行うなど対策は考えているか。

環境経済部長 空き店舗を活用した起業創業支援の取り組みを進めており、現在、制度設計や運用の検討をしている。

問 大型貨物車両の通行規制について

答 啓発活動を行えるよう協議する

加藤 亮二議員



質問 交通規制や取締りは警察の所管であるが、大型貨物自動車等通行止めの標識があるにもかかわらず大型車両が日常的に通行し、騒音や振動、排気ガスに悩まされ、また、交通安全上の不安を感じるとの声が届いている。市としてどのように把握しているのか。

市民部長 窓口やメール、電話連絡で把握し、内容を確認の上、関係部署へ情報提供している。

再質問 苦情処理で終わらせず、実態調査し、印西警察署や道路管理者との協議につなげていく考えはあるか。

答弁 事案の内容に応じ、印西警察署および道路管理者などと連携し、必要に応じ協議していきたい。

再質問 注意喚起の看板は、ただ設置するだけでなく、効果的な場所に正確に、分かり



印西市内の道路規制の現状
赤線：大型貨物自動車等通行止め道路

やすく、実際のルール遵守につながるものに改善が必要だ。また、市内外の事業者などに対し、通行許可申請の必要性や生活道路・通学時間帯への配慮など、周知・要請を行う考えはあるか。

答弁 事業者への個別の周知徹底については、開発事業に係る相談を受け付ける際、規制区域などを併せて確認するよう指導していきたい。交通ルール意識の向上を図るため、印西警察署が実施する交通取り締まり時に協働し、啓発活動を行えるよう協議していく。

問 公園における花火利用について

答 ルールを設け試行的な実施へ

大崎 亜希議員



質問 現在、公園での花火利用は、どのようなルールや考え方で運用しているのか。

市長 市民から公園で花火を楽しみたいとの要望が寄せられている一方で、騒音などに関する苦情もあることから、これまで公園や広場での花火利用は原則禁止としてきた。しかしながら、他自治体での取り組み事例も踏まえ、今後は手持ち花火に限り利用時間や利用場所を限定し、一定のルールを設けた上で公園や広場での花火利用を試行的に実施していく。

再質問 試行的な実施を検討しているとのことだが、想定している利用ルールとは何か。

都市建設部長 夏休み期間中の7月18日から8月31日までの午後5時から午後9時までとし、指定した公園内の利用場所にて行う。対象は手

持ち花火のみとし、打ち上げ花火やロケット花火、大きな音の出る花火は禁止とする。また、中学生以下は保護者同伴とし、消火用の水を準備すること、騒音や迷惑行為を行わないこと、利用後は完全消火とごみの持ち帰りを徹底することなど、安全面や周辺環境に配慮したルールの下で試行的に実施する。

再質問 対象とする公園は。

答弁 松山下公園、木下駅前、にぎわい広場、牧の原公園、印旛中央公園、印旛西部公園、本埜スポーツプラザの6施設。



一定のルールで楽しめるようになる公園での花火

問 師戸地区の市有農地の利活用は

答 民間事業者からの提案を募る

小川 利彦 議員



質問1 有害鳥獣の捕獲状況と推移は。

環境経済部長 過去3カ年のイノシシの捕獲頭数は、令和5年度1122頭、令和6年度957頭、令和7年度1194頭で、10年前の587頭と比べても、大幅に増えている状況だ。

再質問 現在6地区で設置されている地区対策会への支援は。

答弁 地区対策会への活動支援は、初心者向け講習会および技術講習会ならびに意見交換会などを実施し、わな消耗品の経費を支援している。

再質問 わな猟免許の状況は。

答弁 わな猟免許取得に要する経費の一部を助成している。わな猟免許を取得した方の累計は75名である。令和8年11月に、わな猟免許試験を印旛公民館において実施するこ

とになり、今後実施するよう要望する。

質問2 診療所に対して、市独自で物価高騰対策支援金を交付する考えはあるか。

健康子ども部長 診療所に対しては検討していない。令和8年6月に診療報酬の改定が予定されていることから、状況を注視していく。

質問3 師戸の市有農地が利活用に至らない理由は。

環境経済部長 草木の伐根や土壌改良、動物進入防止柵設置などの「圃場の整備」が必要だ。今後、民間事業者から利活用の提案を募る。



箱わなをはじめ、捕獲用わなの使用には、わな猟免許が必要

請願

第8-1号

▼「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書

〈採 択〉

第8-2号

▼「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

願書

〈採 択〉



市議会は、請願の採択後、それぞれ国への意見書を提出する案を可決しました。

陳情

第8-2号

▼東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情

〈議員配付〉

第8-3号

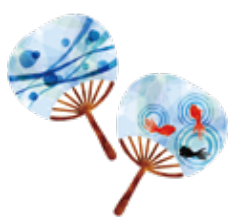
▼学校の校庭に埋蔵されている放射能汚染土壌の除去を求める陳情

〈議員配付〉

第8-4号

▼9条の碑建立に関する陳情

〈議員配付〉



各常任委員会の審査

印西市議会では、全ての議案を委員会に付託し審査することを原則としています。
各委員会に付託された議案と審査内容の一部を要約して掲載します。

総務企画常任委員会

総務部・企画財政部・市民部・会計課・選挙管理委員会・監査委員を所管

市税および都市計画税条例に 関する審査

【議案第2号】

【内容】固定資産税の免税
点の改正など。

問 個人市民税に係る公
的年金等受給者の扶
養控除申告書に関する改正
の概要は。

答 公的年金受給者の扶
養報告書の提出義務
の範囲が拡大されたことに
伴い、字句の整理や引用す
る条項番号の整合を図るも
のである。

問 固定資産税の課税標
準の免税点について、
どのように変更するのか。

答 固定資産税の課税標
準の免税点について
は、家屋にあっては現行20
万円を30万円に、償却資産
にあっては150万円を
180万円に改めるもの
である。

問 住宅借入金等特別税
額控除の変更内容に
ついては。

答 個人市民税の住宅借
入金等特別税額控除
については「令和20年度ま
で」を「令和25年度まで」
期間を延長するもの。また、
適用を受ける場合の居住年
についても「令和7年まで」
を「令和12年まで」の5年
間を延長するものである。

【議案第3号】

【内容】改修特別特定建築
物に対する課税標準の特別
処置の割合を規定。

問 第2号議案の固定資
産税と同様に、都市
計画税についても減額する
改正なのか。

答 そのとおりで、改修
特別特定建築物の課
税標準の特例措置の減額割

合を規定するものである。

問 減額割合を「2分の
1から6分の1」の
中で決定するとされている
が、旧条例ではこの特例の
割合は規定されていなかっ
たのか。

答 「3分の1」とされ
ていたものを、今回、
印西市の裁量により決める
ことができることとされ、
従前と同じ「3分の1」と
したものである



番号	件名	結果
議案第2号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第3号	印西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定	可決

文教福祉常任委員会

小中学校全校にロボッチャ®導入へ



【議案第12号】

【内容】ロボッチャ® スターターキットなどの購入。購入金額…1億2,284万2,500円。納入先…印西市立小中学校20校。納入期限…令和8年9月30日

問

先行導入校における効果はどのようなものがあったか。また、その効果を確認した上で全校展開を決めたのか。

答

先行導入校での取り組みを通じて、プログラミング能力、ロボット組み立てによる空間認知・構想力、データ活用能力、チームワークや社会性、パラスポーツへの理解といった情報活用能力の向上が確認されたことから、全校展開を判断した。

【議案第1号】

【内容】印西市こどもの遊び

場の設置及び管理に関して必要な事項を定めるもの。

問

そもそもどこからこの話が出て来たか。

答

イオンからテナントを見直す際に市の困り事に協力できることはないかとの話があり、その中で子どもの遊び場の話が出たことがきっかけである。

問

同様の民間施設がある中で市が設置する意味は何か。

答

本施設については、営利目的の娯楽施設とは性格を別にし、教育的要素、安全確保を重視した運営を行う点で、民間施設とは役割そのものが違うと考えている。

問

この条例は屋外に対しても応用できるような条例になっているが、次のことも市としては考えているのか。

答

屋外も含めて様々な可能性を検討し実現に努めたい。



小中学校全校に導入されるロボッチャ®

番号	件名	結果
議案第1号	印西市こどもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定	可決
議案第4号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第5号	印西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び印西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第6号	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第7号	印西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定	可決
議案第11号	工事請負契約の変更	可決
議案第12号	財産の取得	可決
請願第8-1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの
請願第8-2号	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択すべきもの

審査結果

建設経済常任委員会

環境経済部・都市建設部・上下水道部・農業委員会を所管

印西市道路線の変更

【議案第13号】

【内容】印西市道路線を変更し、廃止するもの。

市道08-1106号線の路線変更の理由は、

太陽光発電施設の建設のため、現況における

機能が喪失し、将来にわたって機能の回復が必要ないと認められる状況のため。

路線変更後の行き止まり部分については、どのようになるのか。

本路線は未舗装道路となっており、自動車は日常的に進入する道路ではなく、現状同様の行き止まり道路である。

整備スケジュールについては、

未定となっている。

市道1063号線について、路線変更後の行き止まり部分はどのようになるのか。

行き止まり部分については、印西地区環境整備事業組合で整備を予定している次期中間処理施設へのアクセス道路と重複することから、アクセス道路整備の協議の中で今後調整していく。

路線変更箇所の現状は、どのようにになっているのか。

畑の耕作者等の利用があったが、現在は周辺が印西地区環境整備事業組合の事業用地となったため、利用実態がない状況である。

今回の変更で市が費用負担するものはあるか。



廃止される市道(吉田地区)

特に費用負担はない。

市民がどのくらい利用していたのか、市民に影響があるのか。

現状利用がないという状況である。



審査結果	番号	件名	結果
	議案第13号	印西市道路線の変更	可決

令和8年第2回定例会 議案と審議結果一覧

全会一致議案一覧

番号	件名
《議案》（市長提出）	
承認第1号	専決処分の承認を求めること
承認第2号	専決処分の承認を求めること
承認第3号	専決処分の承認を求めること
議案第1号	印西市こどもの遊び場の設置及び管理に関する条例の制定
議案第3号	印西市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定
議案第4号	印西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第5号	印西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び印西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定
議案第6号	印西市立学童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第7号	印西市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定
議案第8号	令和8年度印西市一般会計補正予算（第1号）
議案第10号	令和8年度印西市水道事業会計補正予算（第1号）
議案第11号	工事請負契約の変更
議案第13号	印西市道路線の変更
《議案》（委員会提出）	
発委第1号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出
発委第2号	国における2027年度教育予算拡充に関する意見書の提出
《請願》	
請願第8-1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書
請願第8-2号	「国における2027年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書

番号	件名	協議結果	大崎 亜希	大野 忠寄	加藤 亮二	鈴木 博美	津田 憲吾	都築 真理子	林 勝利	松谷 知美	稲葉 健	小川 利彦	米井 重行	岩崎 成子	海老 原作一	増田 葉子	松尾 榮子	軍司 俊紀	金丸 和史	板橋 睦	山田 喜代子	藤江 研一	近藤 瑞枝
《議案》（市長提出議案）																							
議案第2号	印西市税条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第9号	令和8年度印西市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-
議案第12号	財産の取得	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	×	○	-

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席、欠＝欠席、―＝その他

※議長（近藤瑞枝）は採決に加わりません。

議会

トピックス

議会報
「審査員特別賞」

令和8年5月12日から13日にかけて、千葉県北総地区市議会正副議長会定例会と視察研修会が開催されました。

福島県郡山市議会における、開かれた議会への取り組み（議会報告会・意見交換会の開催）、市内小学校などを対象にした議場見学会の開催などの説明を受け、また、郡山歴史情報博物館などの視察研修を行いました。

なお、同市は中核市議会議長会議会報コンクールにおいて、最優秀賞を2回、審査員特別賞を2回、受賞しています。



正副議長の集合写真

正副議長
の
動向千葉県北総地区市議会正副議長会
定例会と視察研修

郡山歴史情報博物館にて



表紙

紙の

写真

真

表紙は、印西市で活動する小学生野球チーム「Met's & Sharks」です。高花小学校をホームグラウンドに、子どもたちは仲間と声を掛け合いながら、日々練習に励んでいます。

厳しい暑さが続く中でも、グラウンドには元気いっぱい声が響き、全力で白球を追いかける姿が印象的です。野球を通じて技術だけでなく、礼儀や協調性、最後まで諦めない気持ちも育まれています。地域の皆さんに見守られながら成長を続けるMet's & Sharks。

これからも仲間との絆を大切に、一戦一戦を全力で戦う子どもたちへ、温かいご声援をよろしくお願いたします。



令和7年度 政務活動費 収支報告

政務活動費とは…

「印西市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するために必要な経費の一部として、議会における会派（※1）に対し交付されるものです。

交付額は会派の所属議員数に年額36万円（年度内に異動があった場合は月割り）を乗じた額となります。

各会派は、年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額は市に返還しています。

（※1）印西市議会では、2人以上の議員により会派を結成することができます。なお、政務活動費の交付にあつては、所属議員が1人の場合でも会派名を付し、会派としています。

令和7年度 政務活動費収支報告（令和7年4月～令和8年3月）

会派名	人数 (人)	交付額 (円)	支出額（円）								返還額 (円)
			調査研究費	研修費	広報費	広聴費	資料作成費	資料購入費	人件費	計	
至 誠	4	1,440,000	0	0	641,748	0	0	0	0	641,748	798,252
新 政	4	1,440,000	545,903	20,994	727,930	0	57,169	0	0	1,351,996	88,004
T O B E	4	1,140,000	0	0	759,032	10,489	7,930	0	0	777,451	362,549
創 進	3	1,080,000	0	0	866,409	0	3,630	24,750	0	894,789	185,211
公明党	2	720,000	0	17,603	691,616	0	0	0	0	709,219	10,781
日本共産党	1	360,000	0	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0
響（ひびき）	1	300,000	0	0	0	0	0	27,240	0	27,240	272,760
いま未来	1	360,000	0	0	0	0	26,319	0	0	26,319	333,681
印西ダイバーシティ	1	360,000	0	0	360,000	0	0	0	0	360,000	0
歩	1	60,000	3,535	0	0	0	0	0	0	3,535	56,465

使途項目（解説）

調査研究費…会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に要する経費

研 修 費…会派が研修会を開催するために必要な経費および団体などが開催する研修会等の参加に要する経費

広 報 費…会派が行う活動および市政について住民に報告するために要する経費

広 聴 費…会派が行う住民からの市政および会派の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費

資料作成費…会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費

資料購入費…会派が行う活動に必要な図書、資料などの購入に要する経費

人 件 費…会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費

※交際費的（慶弔費等）な経費や政党活動、選挙活動などには支出することはできません。

領収書を含めた各会派の政務活動費収支報告書は、市役所1階行政資料コーナーおよび市議会ホームページで閲覧できます。



いんざい議会だより

令和8年（2026年）8月 No.217



《在職30年表彰》

山田 喜代子 議員

全国市議会議長会より
表彰状が授与されました

市議会議員として、市政の発展に努められた功績をたたえ、左記議員が表彰されました。



「声の議会だより」を作成しています

目が不自由など文字による情報入手が困難な方のために、「議会だより」をCDに録音した「声の議会だより」を印西市社会福祉協議会に委託し、作成しています。

配布を希望される方は、障がい福祉課 ☎ 0476 (33) 4639 までご相談ください。



いんざい議会だよりを スマートフォン用アプリでご覧になれます



マチイロ

右の2次元コードからも
ダウンロードできます。



「議会だより」をより多くのみなさんに届ける情報発信手法として、スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で配信を行っています。「マチイロ」のアプリをダウンロードすれば、スマートフォンやタブレットからいつでも、どこでも「議会だより」を読むことができます。

始めるのは簡単です

- 1 App Store・Google Play から「マチイロ」を検索しダウンロード。
- 2 お住まいの地域など、簡単な設定をします。
- 3 使用開始

※アプリのダウンロードは無料ですが、通信費は利用者の負担となります。

こんな使い方もできます

- 印西市ホームページに接続しなくても、またオフラインでも「議会だより」を閲覧できます。
- 最新号が発行されると、アプリにお知らせが届きます。
- 新着情報と連動してお知らせが届きます。
- ページめくりや拡大縮小なども簡単にできます。スクラップ機能として、範囲を指定して画像を保存することができます。保存した記事はメールへの添付や SNS でシェアできます。
- アプリのオリジナルコンテンツを見ることができます。

編集後記

梅雨も明け、暑さが厳しい季節となりました。本号では、令和8年第2回定例会の内容をお届けします。各議案、補正予算、一般質問の内容を掲載しております。また令和7年度の各会派および議員の日頃の政務活動に使用した「政務活動費」の報告について掲載しております。

「議会だより」が読みやすく、わかりやすく市民の皆さまへ情報発信できるように、議会だより編集委員会では、定例会ごとに試行錯誤して、丁寧に広報紙を作成しております。今後も皆さんに読んでいただけるように編集してまいります。

(津田)

委員長 藤江 研一
副委員長 林 勝利
委員 大野 忠寄
委員 鈴木 博美
委員 津田 憲吾
委員 増田 葉子

〃 〃 〃

藤江 研一
林 勝利
大野 忠寄
鈴木 博美
津田 憲吾
増田 葉子

まちづくりをみんなと共に

滝野中学校

3年

植村

紗羽



広い空の下、季節の移ろいを感じながら過ごしてきた日々。それが私にとっての印西市の思い出です。

私は1歳のときに印西市へ引っ越してきました。幼い頃、兄と一緒に公園を走り回ったこと。家の近くを歩きながら季節を感じたこと。振り返ると、何気ない毎日の中に、このまちの魅力が詰まっていた。

成長するにつれて、まちに求めるものも変化してきました。

た。幼い頃はのびのびと遊べる場所が大切でしたが、今では学習できる場所や、友達と安心して過ごせる場所の大切さを感じています。印西市には、多くの世代が暮らしやすい環境があります。その良さをさらに生かすためにも、集中して学習できる場所、安心して移動できる環境、障がいや特性に左右されない環境などが整っていくと、より暮らしやすいまちになると思っています。

以前、市長と「未来の印西市」について話す機会があり、自分の考えを伝えることができました。印西のまちづくりは行政だけでなく、市民一人一人の「こうなっていきたい」という思いによってつくられていくものだと感じました。これからも印西市で育った一人として、このまちの良さを大切にしながら、より暮らしやすい未来について考えていきたいです。

令和8年第3回定例会 会期予定および日程

令和8年第3回定例会は、8月28日(金)から9月29日(火)までの会期予定です。

なお、インターネットによる本会議のライブ中継および委員会の録画中継を配信しておりますので、ご利用ください。

詳細については、議会事務局までお問合せください。

【印西市議会事務局】
☎0476(33)4614



いんざい君 © 2011 Inzai City

日	月	火	水	木	金	土
8/16	8/17	8/18	8/19	8/20	8/21 議会運営委員会	8/22
8/23	8/24	8/25	8/26	8/27	8/28 本会議 (議案上程)	8/29
8/30	8/31 本会議 (会派代表質問)	9/1 本会議 (会派代表質問)	9/2 本会議 (個人質問)	9/3 本会議 (個人質問)	9/4 本会議 (個人質問)	9/5
9/6	9/7 本会議 (個人質問)	9/8 決算審査 特別委員会	9/9 決算審査 特別委員会	9/10 決算審査 特別委員会	9/11 決算審査 特別委員会	9/12
9/13	9/14 予算審査 常任委員会	9/15 総務企画 常任委員会	9/16 文教福祉 常任委員会	9/17 建設経済 常任委員会	9/18	9/19
9/20	9/21 敬老の日	9/22 国民の休日	9/23 秋分の日	9/24	9/25	9/26
9/27	9/28 議会運営 委員会	9/29 本会議 (議案の採決)	9/30			